



夢を描いた私の作品



社会的弱者と共に利便性の向上を推進します・・・

この事業は、NPO 法人電気仕掛けの仕事人の後援を頂いております・・・



# 事業計画書

作成日：平成16年2月11日

## 事業名

「作成者名」 河島正幸	「住所」 〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町 133-24 TEL&FAX:052-833-7721
「事業の名称」 シュヨーネット (個人経営) <私の病名の 腫瘍 から命名>	

## 事業計画の概要

### テーマ

【IT】【福祉】【ユニバーサルデザイン】  
【バルネラビリティと共にアクセシビリティを目差す】  
(社会的弱者と共に利便性の向上を目差す)

### 事業内容

【出張出前パソコン教室】【ホームページ作成】【パソコンよろず相談業】【パソコンの家庭教師】

### 対象

【元気な高齢者】

### 事業を思い立った背景・動機・実現させたい夢・志

私は、平成2年に発病して過去5回入院、4回大きな手術を行ないました。昨年5月の入院では、主治医から「不治の病で治らないと・・・」と告知を受けました。現在「右下肢機能障害の身体障害者です。」

このような経緯が幸いしてか、『福祉』に非常に興味が沸き、平成12年より福祉系のNPO活動を始めました。平成13年には、福祉系のNPO法人の設立を手伝い、NPO法人福祉住環境コーディネーター中部推進協議会を起業させました。その後、その事務員として働き福祉・医療・建築の知識を学びました。ここでの収穫は、上記の知識の他に自分なりの人脈・ネットワークが構築できたことです。

しかし、残念ながらNPOのボランティア精神が仇になり資金不足から、当会は平成15年に解散してしまいました。

その時の事業の一つの柱として、企業会員向けのホームページ作成がありました。そのWebの責任者として、「IT」にも興味があり以前より独学で勉強していました。





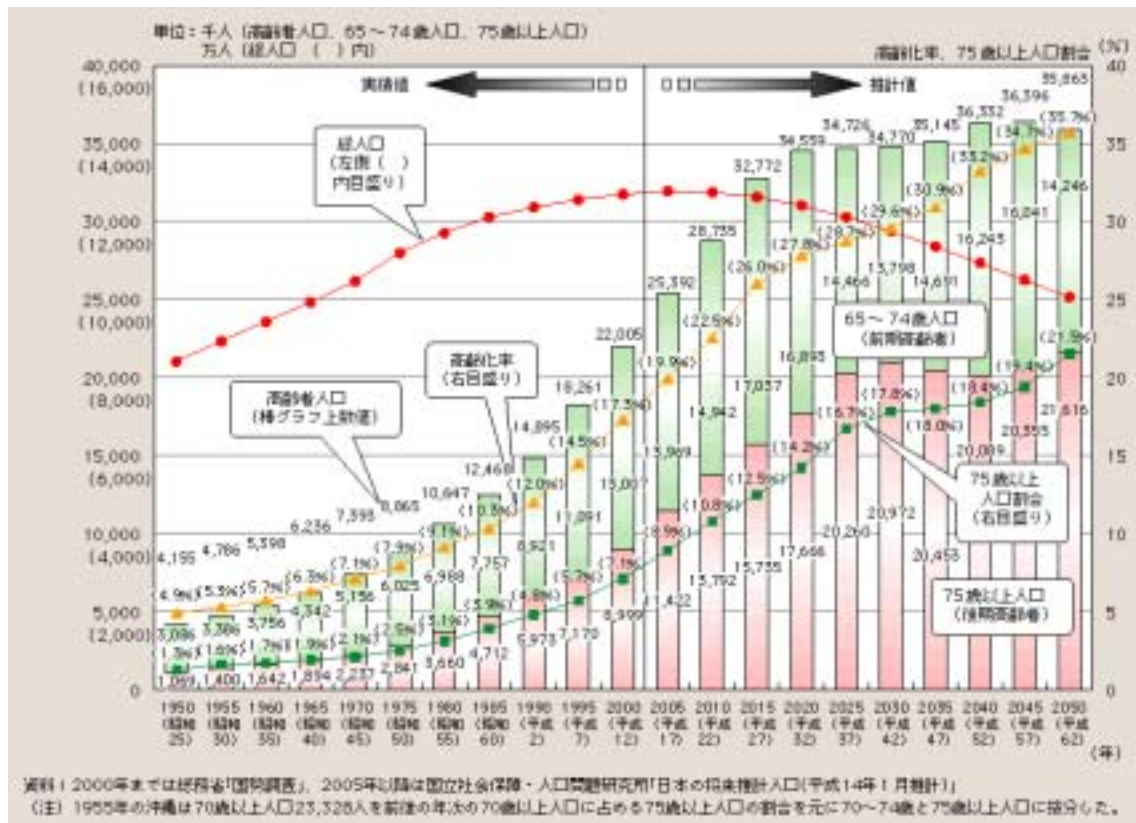
福祉の視点から見た IT は、まだまだ**健常者中心**でした。

現在、パソコンは一人一台の時代となり普及して、パソコンが使えないと仕事も趣味もできないと**いいほどの時代**となりました。

このパソコンが使えインターネット利用者は、自宅に**いながら全世界の情報を瞬時に**入手でき、また、こちらからも情報を発信できる**双方向時代**です。場所も時間も制限がなくなり、私達のライフスタイルも大きく変わり、以前では全く考えられなくなった雇用形態も生じています。私も下肢障害者で、以前では全く仕事に**就けなかった**ことが、この IT 化により**在宅ワーク**という**新しい職場環境**ができ、その恩恵を被っている一人です。

ちなみに、私は現在、NPO 法人電気仕掛けの仕事人（在宅ワーク支援の特定非営利活動法人・平成 15 年度愛知県の支援団体）の**テレワーカー**（情報機器を活用し在宅で仕事をする者）をしております。また、パソコン関係受講時間数は、**1,662 時間**です。

しかし、その恩恵を享受していない人達がいかに多いかということが、分かりました。



(高齢化の推移)

**デジタルデバイト（情報格差）**の開きは、益々広がるばかりのように思えます。

数年前は、国を挙げての**e-JAPAN 構想**で、市町村挙げて**IT 講習会**を開催していましたが申し込み殺到で電話が全く繋がりませんでした。

運良く受講できても、その内容は全くの初心者には、非常に難しい内容だったように思えます。





これでは、全くの初心者には、難し過ぎてかえってやる気をなくしてしまったのではないかと心配しました。

その後、IT講習会も開かれなくなり、e-JAPANの掛け声も聞かれなくなりました。現在も定期的に生涯学習センター等で開講しているようですが、倍率が高く抽選でなかなか受講できません。

また、開催場所が限られていることから遠方の高齢者は、最初から諦めています。

一方、民間のパソコンスクールでは、**営利団体**ですから、資格が取れる、就職・転職に有利と、採算の見込めない高齢者向けの講座を開いている所は、皆無です。

また、現在は介護保険が始まり介護保険対象者ばかりに世間の目がいっていますが、その対象者より **はるかに対象外の元気な高齢者が多い**ことは数字が物語っております。そのような元気な高齢者は、上記の説明の通りやる気はあるのだが、やってもらえるところがない**(需要があるのだが、供給先がない)**

その環境の中で、「**出前の出張パソコン教室**」に着目した。

誰に何を提供するのか&顧客にとっての使用価値

元気な高齢者向けに出前でパソコン教室を開催することにより、**パソコンの面白さを体感してもらう**。また、**パソコンは一部の者だけの物ではない**という事を理解してもらい、**出会いの場の提供から生きがいを見つけてもらう**ことに繋がる。

**外出の機会を増やすことにより、現在問題になっている鬱病等の予防になる**。

高齢者が外出しやすいうように**集会場やコミュニティーセンター**で教室を開催する。

	平成14年10月1日			平成13年10月1日			増加数 (総数)	増加率 (総数)	
	総数	男	女	総数	男	女			
人口 (万人)	総人口	12,744	6,225 (性比)	6,518 95.5	12,729	6,224 (性比)	6,505 95.7	15	0.1
	高齢者人口(65歳以上)	2,363	996 (性比)	1,367 72.9	2,287	962 (性比)	1,325 72.6	76	3.3
	前期高齢者(65~74歳)	1,359	632 (性比)	726 87.1	1,334	620 (性比)	714 86.8	25	1.9
	後期高齢者(75歳以上)	1,004	364 (性比)	641 56.6	953	342 (性比)	611 56.0	51	5.4
	生産年齢人口(15~64歳)	8,571	4,302 (性比)	4,269 100.8	8,614	4,326 (性比)	4,288 100.9	△43	△0.5
	年少人口(0~14歳)	1,810	928 (性比)	883 105.1	1,828	937 (性比)	892 105.0	△18	△1.0
構成比	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	高齢者人口(高齢化率)	18.5	16.0	21.0	18.0	15.5	20.4	-	-
	前期高齢者	10.7	10.2	11.1	10.5	10.0	11.0	-	-
	後期高齢者	7.9	5.8	9.8	7.5	5.5	9.4	-	-
	生産年齢人口	67.3	69.1	65.5	67.7	69.5	65.9	-	-
	年少人口	14.2	14.9	13.5	14.4	15.1	13.7	-	-

資料：総務省統計局「推計人口」(各年10月1日現在)  
(注)「性比」は、女性人口100人に対する男性人口の割合

(高齢化の現状)

マーケティング(市場参入・顧客獲得)

行政では、手が出せない分野である。

民間企業では、採算が取れない。





すなわち、ニッチ(隙間)産業である。

開講場所は、地域のコミュニティーセンター・公民館で当初は開催する。

近隣にチラシを配布する。高齢者の口伝により広げていく

そこから人の輪を広げて、各サークル等に波及させて個人宅に集ってもらい開催する。

正しく、ご家庭向け出張パソコン教室です。そうすることによって、会場費を節約でき場所取りの労務も解消される。

現在、先の解散したNPO法人より引き継いだ、ノートパソコンが10台程あり、これを活用する。

受講内容もテキストを私が作成し、スイッチの入れ方から分かる超初心者用として、お茶とお饅頭を食べながらアットホームな雰囲気にする。

パソコンを教えるのではなく、共にパソコンを楽しむ姿勢にする。

パソコンとは、こんなに面白く楽しいものだったのか・・・を合言葉にする。

儲かる仕組みは何か

価格帯も世間相場よりは若干安くし、草の根のNPO的活動にする。

NPO的活動にすることにより、安心して受講してもらえる。

元気な高齢者の社交の場の提供という面もあり、正しく社会貢献型事業である。

NPO活動とは、全く無料のボランティア活動ではありません。

受講者は、お金を払うのでその対価を求め、主催者は、真剣に教える。正しくお互い対等な立場であるのが原則。(住民参加型福祉サービス)

事業の波及効果

出前パソコン教室にすることにより、輪が広がりホームページ作成事業に結びつく。



私のホームページサイト

<http://www.shuyo.net>

点字講座

視覚障害者のページ

福祉データについて

福祉の増進に力を入れている

私は、現在 Web クリエーターであり各種のホームページを作成している。つい最近は名古屋市長合リハビリテーションセンターのホームページを作成しました。故にパソコンの技術はあります。Web 関係では、第25回愛知県障害者技能競技大会・ホームページ部門で「銅賞」を受賞、表計算技師、NPO法人電気仕掛けの仕事人のWeb部門のチーフデザ



イナーです。

現在のホームページの分野では、全くの健常者の青眼者の世界です。

文字フォントは、益々小さくなり、CGIやJavaScript・Javaアプレットの全盛で動くものが主流です。

しかし、ITの分野の進歩は凄まじく、現在では音声認識ソフトの発達で、全盲の視覚障害者もパソコンから情報を得られるようになりました。

その分野の共同研究を名古屋市総合リハビリテーションセンターと行ないましたので、この分野の「ユニバーサルデザイン」に特化した差別化したホームページ作成を目玉にします。作成に関しては、障害者の仲間にもアウトソーシングして、障害者の働く場の提供をしていきたい。



私が作成しました、  
名古屋市総合リハビリテーションセンターのホームページ

視覚障害者のページを新設

その分野の先端を追求しています・・・

<http://nagoya-rehab.or.jp/>

このパソコンスクールをきっかけにして、各サークルのホームページ作成のPRをしていき、もう一つの柱としてもホームページ作成事業を行ないます。

現在、ホームページ作成会社が乱立していることから、まともに営業をしても受注に結びつき難い事は歴然としている。

また、私は福祉住環境コーディネーターであり、福祉用具専門相談員です。福祉関連受講時間数 355 時間。

パソコン教室時に、この福祉の介護保険等の説明もして、介護予防に努めたいと思います。介護保険についても、まだまだ知らない人が多く予防すなわち医療費の削減になります。

ホームページ作成に福祉を絡ませ、営業先を企業から地域に密着したサークルにすることで受注を増やす。その分作成費は、企業向けより安くする。

今後の事業の展開



また、この事業が軌道に乗ってくると、受講した方、ホームページを作成依頼した方からパソコンに関心が湧いてきて、パソコンについての各種の相談や疑問が発生してくる。その時の「よろず相談」を行なうことも事業にする。

パソコンの「家庭教師」・「パソコンのハード面での技術指導」等の事業も期待できる分野であり事業化していく。

事業成功の鍵

**ニッチ(隙間)産業である。**

**社会貢献性である。お互いに遣り甲斐・生き甲斐になる。**

**NPO(住民参加型福祉サービス)的活動**



【私の作成したホームページの主な作品】



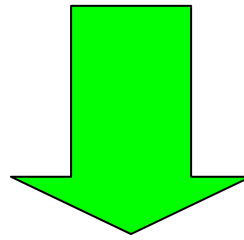
第25回愛知県障害者技能競技大会・ホームページ部門【銅賞】受賞



【図解】

【高齢者向け  
出張パソコン  
教室】

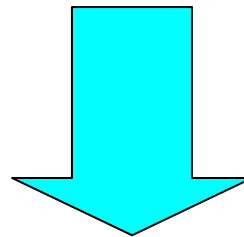
コミュニティーセンター  
集会所  
で開講する  
サークル向け、ホームページ作  
成をPR



会場をサークルの個人宅へ  
移行させる

【ユニバーサル  
デザイン・ホーム  
ページ作成部門】

サークルのホームページ作成  
サークルのPR効果  
全世界への発信  
サークル内の連絡網  
サークルの行事予定  
サークル内の掲示板  
メンバーの思い出共有  
月々のメンテナンス契約(安定収入)



もっと勉強したい方用のパソコ  
ン家庭教師  
パソコンに対する分からないこ  
とへのよろず相談  
緊急対応支援

【パソコン家  
庭教師・よろず  
相談部門】

